

52-A-051 外胚葉から発生するのはどれか。

1. 脳
2. 心臓
3. 膀胱
4. 卵巣
5. 骨格筋

52-A-052 体表から触知できるのはどれか。2つ選べ。

1. 歯突起
2. 結節間溝
3. 胸骨角
4. 顆間隆起
5. 舟状骨粗面

52-A-053 回旋筋腱板を構成する筋はどれか。2つ選べ。

1. 棘上筋
2. 肩甲挙筋
3. 広背筋
4. 小円筋
5. 前鋸筋

52-A-054 第2中手骨底に付着する筋はどれか。

1. 円回内筋
2. 尺側手根屈筋
3. 浅指屈筋
4. 長掌筋
5. 橈側手根屈筋

52-A-055 胸椎に付着する筋はどれか。

1. 外腹斜筋
2. 肩甲挙筋
3. 前鋸筋
4. 僧帽筋
5. 内腹斜筋

52-A-056 二重神経支配の筋はどれか。

1. 長内転筋
2. 大内転筋
3. 中間広筋
4. 半膜様筋
5. ヒラメ筋

52-A-057 脳血管とその還流域の組合せで正しいのはどれか。

1. 前大脳動脈——黒質
2. 中大脳動脈——海馬
3. 後大脳動脈——視床
4. 脳底動脈——Broca野
5. 椎骨動脈——中心前回

52-A-058 大脳辺縁系とその働きの組合せで正しいのはどれか。

1. 海馬——体温調節
2. 嗅球——内分泌
3. 視床下部——長期記憶
4. 帯状回——運動学習
5. 扁桃体——短期記憶

52-A-059 同一の臓器から分泌されるホルモンの組合せで誤っているのはどれか。

1. アルドステロン——コルチゾール
2. インスリン——グルカゴン
3. エリスロポエチン——レニン
4. オキシトシン——バソプレシン
5. カルシトニン——パラトルモン

52-A-060 視覚器で正しいのはどれか。

1. 毛様体には血管がない。
2. 虹彩には瞳孔散大筋がある。
3. 眼動脈は外頸動脈の分枝である。
4. 眼球壁外膜は強膜と内膜からなる。
5. 角膜には血管が多数分布している。

52-A-061 細胞膜電位について誤っているのはどれか。

1. 静止膜電位は負の値である。
2. 活動電位は全か無の法則に従う。
3. 活動電位の発火直後には不応期が存在する。
4. 脱分極で極性が正の部分をオーバーシュートという。
5. カリウムイオンは脱分極のときに細胞外から細胞内に移動する。

52-A-062 運動単位について誤っているのはどれか。

1. 1個の運動ニューロンとそれに支配される筋線維群を運動単位という。
2. 1つの筋肉は多数の運動単位で構成される。
3. 1個の運動ニューロンが何本の筋線維を支配しているかを神経支配比という。
4. 上腕二頭筋より虫様筋の方が神経支配比は大きい。
5. 最も強い筋収縮は筋のすべての運動単位が同期して活動するとき起こる。

52-A-063 腱をたたいて骨格筋を急速に伸ばすと起こる筋単収縮に関与するのはどれか。

1. 筋紡錘
2. Pacini 小体
3. Ruffini 終末
4. 自由神経終末
5. Meissner 小体

52-A-064 健常者の安静時呼吸について正しいのはどれか。

1. 呼吸数は 25/分程度である。
2. 呼気時の気道内圧は陽圧である。
3. 呼気時の胸腔内圧は陽圧である。
4. 呼気時に外肋間筋の収縮がみられる。
5. 吸気時に胸鎖乳突筋の収縮がみられる。

52-A-065 血液凝固因子はどれか。

1. アルブミン
2. トロンビン
3. ヘモグロビン
4. プラスミノゲン
5. エリスロポエチン

52-A-066 胃液の分泌を促進するのはどれか。2つ選べ。

1. 胃壁の伸展
2. 胃内 pH の低下
3. 交感神経の緊張
4. ガストリンの分泌
5. 十二指腸内への酸性内容物の流入

52-A-067 尿の生成について正しいのはどれか。

1. 集合管では尿の希釈を行う。
2. 血漿蛋白は糸球体を透過する。
3. 血液の濾過は腎小体で行われる。
4. 近位尿細管ではアンモニアの再吸収を行う。
5. 抗利尿ホルモンは水の再吸収量を減少させる。

52-A-068 老化に伴う生理機能の変化で正しいのはどれか。

1. 血管抵抗は低下する。
2. 残気量は減少する。
3. 心拍出量は増加する。
4. 肺活量は増加する。
5. 予備呼吸量は減少する。

52-A-069 立位姿勢が安定しているのはどれか。

1. 支持基底面が狭い。
2. 重心の位置が高い。
3. 床と足底の接触面の摩擦抵抗が小さい。
4. 上半身と下半身の重心線が一致している。
5. 重心線の位置が支持基底面の中心から離れている。

52-A-070 肩甲骨の運動とそれに作用する筋の組合せで正しいのはどれか。

1. 挙上——小胸筋
2. 下制——鎖骨下筋
3. 外転——僧帽筋
4. 内転——菱形筋
5. 下方回旋——前鋸筋

52-A-071 前腕回外に作用する筋はどれか。

1. 長掌筋
2. 小指伸筋
3. 上腕二頭筋
4. 長母指屈筋
5. 橈側手根屈筋

52-A-072 股関節の運動とそれに作用する筋の組合せで正しいのはどれか。

1. 屈曲——梨状筋
2. 伸展——大腰筋
3. 内転——薄筋
4. 内旋——上双子筋
5. 外旋——半腱様筋

52-A-073 足部アーチについて正しいのはどれか。

1. 外側縦アーチの要石は外側楔状骨である。
2. 外側縦アーチは内側縦アーチよりも長い。
3. 内側縦アーチは外がえしで高くなる。
4. 内側縦アーチは中足指節関節の伸展時に高くなる。
5. 足根骨部の横アーチで高い位置にあるのは立方骨である。

52-A-074 フィードバックの説明で正しいのはどれか。

1. 平均フィードバックは試行ごとに与える。
2. 帯域幅フィードバックは何回分かをまとめて一度に与える。
3. 同時フィードバックは運動課題を実行している最中に与える。
4. 漸減的フィードバックは誤差が一定の幅を外れた場合に与える。
5. 要約フィードバックは学習の進行に伴い頻度を減らして与える。

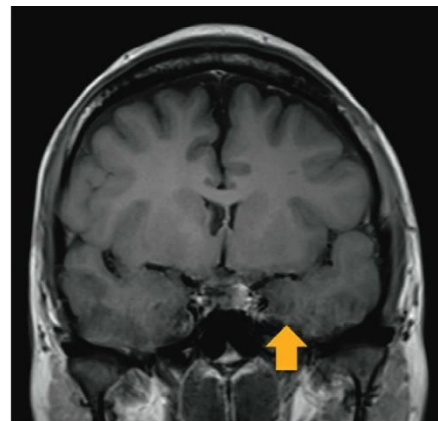
52-A-075 病理学的な悪性度が最も高いのはどれか。

1. 海綿状血管腫
2. 下垂体腺腫
3. 神経膠芽腫
4. 神経鞘腫
5. 髄膜腫

52-A-076 急性炎症と比較した場合の慢性炎症の特徴はどれか。

1. 血管内皮細胞の損傷
2. 血漿蛋白の滲出
3. 好中球の集積
4. サイトカインの分泌
5. 組織の線維化

52-A-077 頭部 MRI の T1 強調冠状断像を示す。矢印の部位はどれか。



1. 前頭弁蓋
2. 帯状回
3. 尾状核
4. 海馬
5. 島

52-A-078 自分自身が受け入れることができない衝動・観念を、他の人が持っているとする防衛機制はどれか。

1. 反動形成
2. 合理化
3. 否認
4. 投影
5. 抑圧

52-A-079 老年期における精神保健上の問題として適切なのはどれか。

1. 緘黙
2. 同一性拡散
3. 社会的孤立
4. 空の巣症候群
5. モラトリアム

52-A-080 行動療法の技法でないのはどれか。

1. 精神分析
2. 系統的脱感作法
3. 曝露反応妨害法
4. トークンエコノミー法
5. バイオフィードバック法

52-A-081 語の流暢性課題を含む検査はどれか。

1. MMPI
2. MMSE
3. WCST
4. HD S-R
5. Rorschach テスト

52-A-082 中心性脊髄損傷について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 高齢者に多い。
2. 骨傷に伴って生じることが多い。
3. 頸椎の過屈曲によって発生することが多い。
4. 肛門括約筋の収縮が障害されることが多い。
5. 下肢より上肢機能が強く障害されることが多い。

52-A-083 運動障害と評価方法の組合せで正しいのはどれか。

1. 運動失調——指鼻試験
2. 筋力低下——Brunnstrom 法ステージ
3. 持久力低下——徒手筋力テスト
4. 錐体外路障害——Babinski 反射
5. 錐体路障害——Romberg 試験

52-A-084 観念運動失行の検査はどれか。

1. 「今、何時ですか」
2. 「右手の薬指はどれですか」
3. 「歯を磨くまねをしてください」
4. 「紙を折って封筒に入れてください」
5. 「このカードに描いてある絵を覚えてください」

52-A-085 上腕骨外側上顆炎について正しいのはどれか。

1. 男性に多い。
2. 高齢者に多い。
3. 自発痛はない。
4. 手関節伸筋腱の付着部の炎症である。
5. 物を持ち上げる際は前腕回内位で行うようにする。

52-A-086 変形性膝関節症について正しいのはどれか。

1. 男性に多い。
2. 膝関節液は混濁している。
3. 内側楔状足底板が有用な場合が多い。
4. 初期の疼痛は動作開始時に出現しやすい。
5. エックス線像では外側関節裂隙が狭小化している場合が多い。

52-A-087 第4腰椎すべり症の症候として誤っているのはどれか。

1. 頻尿
2. 下肢痛
3. 痙性歩行
4. 間欠性跛行
5. 会陰部の熱感

52-A-088 脳血管障害について誤っているのはどれか。

1. 高血圧は脳出血の危険因子である。
2. くも膜下出血は女性よりも男性に多い。
3. 発作性心房細動は脳塞栓の危険因子である。
4. 癌に付随する凝固異常は脳塞栓の原因となる。
5. 慢性腎臓病（CKD）は脳卒中の危険因子である。

52-A-089 平均的な発症年齢が最も低いのはどれか。

1. 筋強直性ジストロフィー
2. 福山型筋ジストロフィー
3. Becker型筋ジストロフィー
4. Duchenne型筋ジストロフィー
5. 顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー

52-A-090 多発性硬化症について正しいのはどれか。

1. 女性よりも男性に多い。
2. 再発と寛解を繰り返す。
3. 発症は50歳以上が多い。
4. 後遺障害を残すことは稀である。
5. 白色人種に比べて黄色人種に多い。

52-A-091 中枢神経の先天奇形とその特徴の組合せで正しいのはどれか。

1. 小頭症——脳圧亢進
2. 滑脳症——脳溝増加
3. 二分脊椎——水頭症合併
4. Dandy-Walker症候群——後頭蓋縮小
5. Arnold-Chiari奇形——脊髄の頭蓋内嵌入

52-A-092 高齢者の肺炎の特徴として正しいのはどれか。

1. 高熱がみられる。
2. 誤嚥性肺炎が多い。
3. 肺尖部の病巣が多い。
4. 咳反射の亢進がみられる。
5. 死因となる例は減少している。

52-A-093 急性心筋梗塞後の運動療法の効果として正しいのはどれか。

1. 梗塞範囲の減少
2. 心室破裂の減少
3. 心嚢液貯留の減少
4. 左室駆出率の増加
5. 急性期心臓死の減少

52-A-094 内分泌異常と病態の組合せで正しいのはどれか。

1. 下垂体前葉ホルモン欠損——先端巨大症
2. 甲状腺機能低下——Basedow病
3. 抗利尿ホルモン分泌亢進——尿崩症
4. 副甲状腺機能低下——テタニー
5. 副腎皮質機能低下——Cushing症候群

52-A-095 医療法で規定されていないのはどれか。

1. 医療提供の理念
2. 医療従事者の責務
3. 病院開設者の資格
4. 医療行為に対する診療報酬
5. 都道府県における医療計画の策定

52-A-096 双極性障害と比較した場合のうつ病の特徴はどれか。

1. 有病率が低い。
2. 平均初発年齢が低い。
3. 有病率の男女差が小さい。
4. 一卵性双生児の罹患一致率が低い。
5. 状況要因が誘因となって発症することが少ない。

52-A-097 小児自閉症について正しいのはどれか。

1. 学童期に発症する。
2. 脊椎変形を生じる。
3. 女兒より男児に多く出現する。
4. 精神遅滞を伴うことは稀である。
5. 大部分の症例でてんかんを認める。

52-A-098 アルコールの離脱症候群はどれか。2つ
選べ。

1. 病的酩酊
2. けいれん発作
3. 複雑酩酊
4. 振戦せん妄
5. Wernicke 脳症

52-A-099 神経性大食症について正しいのはどれ
か。

1. 女性より男性に多い。
2. 高カリウム血症がみられる。
3. 神経性無食欲症からの移行はない。
4. カロリーの低いものを過食することが多い。
5. 代償行動で最も多いのは自己誘発性嘔吐である。

52-A-100 再発に高 EE (Expressed Emotion) が深く
関与している統合失調症患者の治療に有効なのは
どれか。

1. 自律訓練法
2. 認知行動療法
3. 生活技能訓練
4. 家族心理教育
5. レクリエーション

52-P-051 上腕骨小結節に付着する筋はどれか。

1. 棘下筋
2. 棘上筋
3. 肩甲下筋
4. 小円筋
5. 上腕二頭筋

52-P-052 皮下組織の直下に筋腹を触知する筋はどれか。

1. 棘上筋
2. 方形回内筋
3. 小殿筋
4. 中間広筋
5. 長腓骨筋

52-P-053 腕神経叢の後神経束から分岐する神経はどれか。

1. 腋窩神経
2. 筋皮神経
3. 尺骨神経
4. 正中神経
5. 長胸神経

52-P-054 舌下神経について正しいのはどれか。

1. 舌筋を支配する。
2. 両側支配である。
3. 神経核は橋にある。
4. 脳の背側から出る。
5. 味覚の求心路である。

52-P-055 脛骨と腓骨の両方に付着する筋はどれか。

1. 大腿二頭筋
2. 半腱様筋
3. 前脛骨筋
4. 後脛骨筋
5. 短腓骨筋

52-P-056 解剖学的構造のうち、白質に分類されるのはどれか。

1. 視床
2. 脳梁
3. 被殻
4. 淡蒼球
5. 脊髓前角

52-P-057 脳脊髄液の流路において、第三脳室と第四脳室の間に位置するのはどれか。

1. Luschka 孔
2. Magendie 孔
3. Monroe 孔
4. 中脳水道
5. 脈絡叢

52-P-058 胃の解剖について正しいのはどれか。

1. 胃底は胃の下方をいう。
2. 胃の左縁を小弯という。
3. 食道と胃の境に噴門が位置する。
4. 大弯は肝胃間膜によって肝臓と結合している。
5. 胃酸を分泌する腺は幽門前庭に多くみられる。

52-P-059 腎臓の解剖について正しいのはどれか。

1. 糸球体は腎髄質に位置する。
2. 輸出細動脈は集合管につながる。
3. ネフロンは糸球体と尿細管からなる。
4. 輸入細動脈は Henle 係蹄につながる。
5. 腎乳頭は Bowman 嚢に覆われている。

52-P-060 細胞分裂の開始に関わるのはどれか。

1. Golgi(ゴルジ)装置
2. 中心小体
3. ミトコンドリア
4. リソソーム
5. リボソーム

52-P-061 1本の神経線維を電気刺激した場合の興奮伝導の説明で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 興奮は一方向に伝わる。
2. 興奮は減衰せずに伝わる。
3. 興奮は太い線維ほど速く伝わる。
4. 興奮は並走する別の線維に伝わる。
5. 有髄線維では興奮が髄鞘に伝わる。

52-P-062 四肢からの感覚神経伝導路について正しいのはどれか。

1. 触覚の線維は中脳で交叉する。
2. 圧覚の線維は脊髄視床路を通る。
3. 温度覚の線維は脊髄節で交叉する。
4. 一次ニューロンの細胞体は後角にある。
5. 痛覚の伝導路は延髄で二次ニューロンになる。

52-P-063 運動時の循環反応で誤っているのはどれか。

1. 脳血流量は減少する。
2. 腎血流量は減少する。
3. 静脈還流量は増加する。
4. 分時心拍出量は増加する。
5. 骨格筋の血流量は増加する。

52-P-064 交感神経の作用はどれか。

1. 瞳孔の縮小
2. 膀胱の収縮
3. 心拍数の減少
4. 気管支の拡張
5. 膝液の分泌促進

52-P-065 右心不全の症候として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 肺水腫
2. 肝脾腫
3. 起坐呼吸
4. 下腿浮腫
5. チアノーゼ

52-P-066 消化酵素について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. α アミラーゼはマルトースをブドウ糖に分解する。
2. トリプシンはトリペプチドをアミノ酸に分解する。
3. ペプシンは蛋白質をポリペプチドに分解する。
4. マルターゼはデンプンをデキストリンに分解する。
5. リパーゼは脂肪を脂肪酸とグリセリンに分解する。

52-P-067 排便機構について正しいのはどれか。

1. 外肛門括約筋は平滑筋である。
2. 結腸壁が伸展されることで便意が生じる。
3. 内肛門括約筋を収縮されることで排便する。
4. 排便中枢は大脳皮質からの抑制を受けている。
5. 食物で胃が伸展されると大腸の蠕動運動が抑制される。

52-P-068 分娩後の乳汁分泌に作用するホルモンはどれか。

1. ドパミン
2. エストロゲン
3. プロラクチン
4. プロゲステロン
5. ゴナドトロピン

52-P-069 代謝について正しいのはどれか。

1. エネルギー代謝率〈RMR〉は基礎代謝量を基準とした運動強度である。
2. 基礎代謝量〈BM〉は同性で同年齢ならば体重に比例する。
3. 呼吸商〈RQ〉は摂取する栄養素によらず一定である。
4. 代謝当量〈MET〉は安静臥位時の代謝量を基準とした運動強度である。
5. 特異動的作用〈SDA〉とは食物摂取後の消費エネルギーの減少である。

52-P-070 肩関節の運動とそれに作用する筋の組合せで正しいのはどれか。

1. 屈曲——棘上筋
2. 伸展——大円筋
3. 外転——棘下筋
4. 外旋——肩甲下筋
5. 内旋——小円筋

52-P-071 手指の運動とそれに作用する筋の組合せで誤っているのはどれか。

1. 母指 MP 関節伸展——短母指伸筋
2. 小指 MP 関節屈曲——短小指屈筋
3. 環指 MP 関節外転——背側骨間筋
4. 小指 MP 関節内転——掌側骨間筋
5. 中指 MP 関節伸展——虫様筋

52-P-072 膝関節半月板について正しいのはどれか。

1. 外縁は内縁より薄い。
2. 外側半月板は外側側副靭帯に付着しない。
3. 大腿骨と膝蓋骨の適合性を高める。
4. 内側半月板は外側半月板より小さい。
5. 膝関節伸展時には後方に移動する。

52-P-073 足部の内がえしに作用する筋はどれか。2つ選べ。

1. 後脛骨筋
2. 前脛骨筋
3. 第3腓骨筋
4. 短腓骨筋
5. 長指伸筋

52-P-074 成人の安静開脚立位で正しいのはどれか。

1. 頭部は静止している。
2. 腓腹筋は持続的に活動している。
3. 腹直筋は持続的に活動している。
4. 大腿直筋は持続的に活動している。
5. 重心動揺は左右より前後方向が小さい。

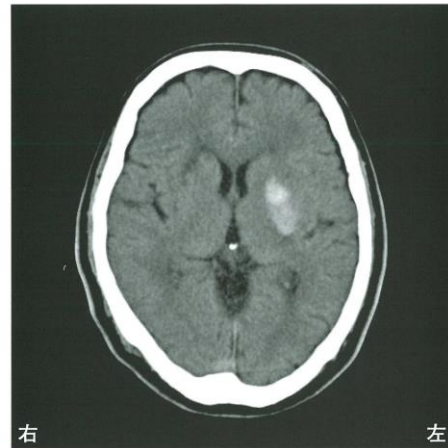
52-P-075 疾患と病因・病理学的変化の組合せで正しいのはどれか。

1. Creutzfeldt Jakob 病——感染性疾患
2. Parkinson 病——脱髄疾患
3. 肝性脳症——神経変性疾患
4. 正常圧水頭症——血行障害
5. 多発性硬化症——腫瘍性疾患

52-P-076 突然の右不全片麻痺を呈して搬送された患者の発症後6時間の頭部CTを示す。

最も考えられるのはどれか。

1. 視床出血
2. 被殻出血
3. 皮質下梗塞
4. くも膜下出血
5. 慢性硬膜下出血



52-P-077 ワルファリンの作用を減弱させるのはどれか。

1. ビタミン A
2. ビタミン B₆
3. ビタミン B₁₂
4. ビタミン C
5. ビタミン K

52-P-078 正常な肉芽の特徴はどれか。

1. 感染しやすい。
2. 乾燥している。
3. 出血しやすい。
4. 白色である。
5. 分泌物が多い。

52-P-079 意識することなく再生される記憶はどれか。

1. 即時記憶
2. 意味記憶
3. 近時記憶
4. 手続き記憶
5. エピソード記憶

52-P-080 Eriksonによる発達段階で老年期に獲得すべき課題はどれか。

1. 親密
2. 統合
3. 勤勉
4. 自律
5. 同一性

52-P-081 模擬場面でのリハーサルを技法として用いるのはどれか。

1. 内観療法
2. 箱庭療法
3. 森田療法
4. 認知行動療法
5. 支持的精神療法

52-P-082 脊髄損傷の自律神経過反射で見られるのはどれか。2つ選べ。

1. 頻脈
2. 高血圧
3. 低血糖
4. 顔面紅潮
5. 損傷レベルより下の発汗

52-P-083 老研式活動能力指標の質問項目のうち、手段的ADLに該当するのはどれか。

1. 「本や雑誌を読んでいますか」
2. 「年金などの書類が書けますか」
3. 「バスや電車を使って1人で外出できますか」
4. 「家族や友だちの相談にのることがありますか」
5. 「健康についての記事や番組に関心がありますか」

52-P-084 摂食嚥下障害への対応で正しいのはどれか。

1. 飲水にはぬるま湯を用いる。
2. 咽頭期障害では頭頸部伸展姿勢で嚥下する。
3. 口腔期障害に対して高粘度の食物を用いる。
4. 先行期障害に対して食事のペースを指導する。
5. 鼻咽腔閉鎖不全に対してはShaker法を用いる。

52-P-085 上腕骨顆上骨折で正しいのはどれか。

1. 老年期に多い。
2. 原則として手術を行う。
3. 外反肘を生じることが多い。
4. 前腕の循環不全を生じやすい。
5. 肘関節屈曲位での受傷が多い。

52-P-086 特発性大腿骨骨頭壊死症について正しいのはどれか。

1. 小児に多い。
2. 手術適応例は少ない。
3. 両側性病変は稀である。
4. ステロイド薬使用者に多い。
5. 股関節内外旋可動域は保たれる。

52-P-087 家族性が孤発性よりも多いのはどれか。

1. Parkinson病
2. 多系統萎縮症
3. Huntington病
4. Lewy小体型認知症
5. 筋萎縮性側索硬化症

52-P-088 重症筋無力症について正しいのはどれか。

1. 起床時に症状が強い。
2. 悪性腫瘍の合併が多い。
3. 自己免疫性疾患である。
4. 女性よりも男性に多い。
5. 40歳以前の発症は稀である。

52-P-089 てんかんについて正しいのはどれか。

1. 半数以上が遺伝性である。
2. 睡眠不足は発作の誘因である。
3. 年齢とともに発症率が減少する。
4. 成人では症候性よりも特発性が多い。
5. 発作の持続時間は後遺障害と関連しない。

52-P-090 眼疾患とその病態の組合せで正しいのはどれか。

1. 白内障——硝子体の混濁
2. 麦粒腫——眼瞼の悪性腫瘍
3. Behcet 病——ぶどう膜の炎症
4. 流行性角結膜炎——色素上皮の剥離
5. 緑内障——眼圧の低下

52-P-091 10 か月の正常児でみられるのはどれか。

1. Moro 反射
2. 手の把握反応
3. 緊張性迷路反射
4. パラシュート反応
5. 非対称性緊張性頸反射

52-P-092 高齢者にみられる病態のうち、低栄養の関与が低いのはどれか。

1. 貧血
2. 褥瘡
3. 大腿骨骨折
4. サルコペニア
5. 虚血性心疾患

52-P-093 2型糖尿病の運動療法について誤っているのはどれか。

1. 有酸素運動が用いられる。
2. インスリン感受性を上昇させる。
3. 食事療法との併用が基本となる。
4. 尿中ケトン体が陽性の場合においても推奨される。
5. 実施にあたってはインスリンが十分に補充されている必要がある。

52-P-094 血友病について正しいのはどれか。

1. 脾腫がみられる。
2. 血小板数が減少する。
3. 点状紫斑がみられる。
4. 膝に関節症をきたす。
5. 自己免疫性疾患である。

52-P-095 リンパ浮腫について正しいのはどれか。

1. 腹水を伴う。
2. 利尿薬で治療する。
3. 蜂窩織炎になりやすい。
4. 肺塞栓症の原因の1つである。
5. 皮膚が線維化を起こすことは稀である。

52-P-096 精神遅滞を生じる疾患のうち、先天性代謝異常が原因であるのはどれか。

1. Down 症候群
2. 結節性硬化症
3. 神経線維腫症
4. Turner 症候群
5. フェニルケトン尿症

52-P-097 疾患と病変の組合せで正しいのはどれか。

1. Lewy 小体型認知症——白質の病変
2. Alzheimer 型認知症——アミロイドの沈着
3. 血管性認知症——黒質の神経細胞脱落
4. 大脳皮質基底核変性症——運動ニューロン病変
5. 前頭側頭型認知症——大脳皮質の腫大神経細胞

52-P-098 境界性パーソナリティ障害にみられないのはどれか。

1. 不安定な感情
2. 孤立への欲求
3. 持続的な空虚感
4. 不明瞭な自己像
5. 繰り返す自傷行為

52-P-099 てんかんについて正しいのはどれか。2つ
選べ。

1. 単純部分発作は意識障害がみられる。
2. 欠伸発作は過換気によって誘発される。
3. 特発性てんかんは脳の器質的病変が特定できる。
4. 複雑部分発作は側頭葉てんかんに多くみられる。
5. 全般発作は発作開始時にてんかん放電が大腦半球の片側にとどまっている。

52-P-100 疾患と治療の組合せで正しいのはどれか。

1. 身体化障害———系統的脱感作法
2. 強迫性障害———曝露反応妨害法
3. PTSD (外傷後ストレス障害) —フラッディング
4. 心気障害———持続エクスポージャー法
5. 解離性健忘———バイオフィードバック法